



寄せられた意見

No. 144-1

受付日	H18. 7. 5	年齢		居住 市町村名	
件名					
<p>天塩川流域委員会 様</p> <p style="text-align: right;">平成18年7月5日 名寄市町内会連合会長 </p> <p>7月3日に行われた「サンルダム建設促進市民大会」において、構成一団体として、以下のとおり決意表明しましたのでここに改めてご報告いたします。</p>					

※  箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています

寄せられた意見

No. 144-2

受付日	H18. 7. 5	年齢		居住 市町村名	
件名	-				
<p>決 意 表 明 平成18年7月3日</p> <p>本日の、サンルダム建設促進市民大会構成の一団体として、一言申し上げます。</p> <p>近年、融雪期が終わった6月から7月の名寄川の水量は、川幅も水深も極端に少ない状況が続いています。</p> <p>特に、平成14年以降は、先程から関係者の説明の中にもあったように、従来の半分程度の水量であり、このような状態は、年々、徐々に進んでいる事から今後、好転するとは思われません。</p> <p>このままでは、給水制限という事態が発生することが考えられます。</p> <p>今のところ辛うじてありませんので、市民の皆さんには実感できない人も多いと思いますが、そうなってからでは遅いのです。</p> <p>名寄市民3万人の水がめをこんな不安定な状況のままに放っておいて良いはずがありません。</p>					

寄せられた意見

No. 144-3

受付日	H18. 7. 5	年齢		居住 市町村名	
件名					

皆さん、渇水期の名寄川を見た方が居りますか。


あの川の水が私たちの生活用水です。安全で安心して生活の出来る生活用水をサンルダムに求め、安定した水量の確保をすることで名寄川に水質の向上をもたらし、清流をつくり、今以上の様々な生き物が生息して、自然豊かな地域が保全されて行くと思います。

3万人名寄市民の命の源みなもとをしっかりと守るため、必要なダムは一刻も早く建設を願いたいと地元が訴えなければ、公共事業は全て不用のように言われている昨今の状況いまの中では、あっさりと止められかねません。

一致団結した市民の声を上げて行こうではありませんか。

以上、私からの決意表明といたします。

地域代表（名寄市町内会連合会長）

※  箇所は、個人情報等に該当するため黒塗りしています